

船舶事故調査報告書

令和元年12月18日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	浸水
発生日時	令和元年5月11日 11時40分ごろ
発生場所	福井県小浜市 ^{おばま} 小浜港 小浜港北防波堤灯台から真方位019°680m付近 (概位 北緯35°30.7′ 東経135°44.4′)
事故の概要	ミニボート（船名なし）は、漂流中、浸水した。
事故調査の経過	令和元年5月24日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	ミニボート（船名なし）、総トン数なし（長さ約3m）
船舶番号、船舶所有者等	なし、個人所有
乗組員等に関する情報	操縦者
負傷者	なし
損傷	船外機に濡損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 3、視界 良好 海象：波高 約0.5m
事故の経過	<p>本船は、操縦者ほか1人が乗り、釣りをしながら漂流中、船尾部に取り付けていた船外機の取付け板が接着剤の硬化等により剥離し、海水が浸入した。</p> <p>本船は、操縦者が携帯電話で118番通報し、操縦者及び同乗者が海上保安庁の巡視艇により救助された後、同艇に揚収された。</p> <p>本船は、操縦者が14年前に購入し、ゴム製の船体が経年劣化していた。</p>
分析	本船は、漂流中、ゴム製の船体が経年劣化していたことから、船尾部に取り付けていた船外機の取付け板が接着剤の硬化等により剥離し、海水が船内に浸水したものと推定される。
原因	本事故は、本船が、漂流中、ゴム製の船体が経年劣化していたため、船尾部に取り付けていた船外機の取付け板が接着剤の硬化等により剥離し、海水が船内に浸水したものと推定される。
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴム製の船体は、出港前にゴムの劣化等船体の状態を点検すること。